

令和7年第2回新十津川町議会定例会一般質問通告表

順位 (議席番号)	質問者	質問項目	答弁者	摘要
1 (10)	西内 陽美	<p>1 今後の都市公園の在り方について</p> <p>都市公園の樹木に関して、適時の消毒や剪定など、町が担うべき維持管理のサイクルが適切に行われているとは考え難い状況が窺える。また、行政区内の公園では、生い茂った樹木にカラスが巣を作り住民を攻撃したり、樹木による花粉症などの健康被害が発生したという苦情もある。</p> <p>公園の維持管理については、「新十津川町公園施設等長寿命化計画」に基づき管理されているとのことだが、現在、この計画には都市公園の樹木の管理は盛り込まれていないとのことであった。</p> <p>公園内に植えられている桜や白樺なども遊具やベンチ、芝生、広場と同じく公園の一部であり、公園全体の環境はもちろんのこと、公園を含めた一体的な住環境をつくる上で、樹木の適正な維持管理は必要と考える。</p> <p>以上のことから次の3点を質問する。</p>	町長	
		<p>① 公園樹木の管理方針について</p> <p>前段でも触れたが、「新十津川町公園施設等長寿命化計画」には盛り込まれていない公園の樹木の維持管理について、今後どのような管理をしていく方針なのか、町長の考えを伺う。</p>	町長	
		<p>② 公園維持管理に対する住民意見聴取の考えについて伺う</p> <p>街区公園は様々な行政区に設置されており、公園に対する考えもそれぞれある。街区公園の維持管理について、住民の意見を広く聴取する考えはあるか。</p>	町長	
		<p>③ 歴史的価値のある中央公園の整備について</p>	町長	

順位 (議席番号)	質問者	質問項目	答弁者	摘要
		<p>「中央公園」には、「遊具があっても、木が鬱蒼としていて見通しが悪い。子どもを遊ばせるのには不安だ。不審者が潜んでいても分からないのではないか。」「トイレが暗く、はずれにあるので使いづらい。」「公園や開拓記念館への入り口がわかりづらい。」などの意見がある。</p> <p>「中央公園」は、明治23年の開拓発祥地として歴史的に重要な「菊水公園」に隣接しており、本町にとって特別な価値を有する区域である。一般的な公園維持管理にとどまらず、開拓記念館を含めて、景観、訪れる人を誘導する動線、「菊水公園」との接続性などを考慮し、総合的な整備を検討すべきと考える。</p> <p>「中央公園」一帯が持つ歴史的価値を踏まえた、公園整備についての考えを伺う。</p>		
2 (10)	西内 陽美	<p>2 小中一貫教育と、学校施設の在り方について</p> <p>現在、本町では、小・中学校間での連携により、小学校の段階からの教科担任制や小・中学校間での教員の乗り入れ授業などを導入して、児童の中学校進学への不安を取り除くほか、進学後の学習のつまずきの解消などに取り組まれている。</p> <p>教育長は、第1回町議会定例会で示された令和7年度教育行政執行方針のなかで、「小・中一貫教育を推し進めていく。」と、本町の教育行政において初めて「小・中一貫教育」について述べられた。</p> <p>以上のことから、次の2点を質問する。</p> <hr/> <p>① 小中一貫教育への進め方について</p> <p>小中一貫教育は、「小・中学校が目指す子供像を共有し9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育」と定義づけされている。</p>	教育長	

順位 (議席番号)	質問者	質問項目	答弁者	摘要
		<p>9年間の長期的なカリキュラムによる教育内容や学習活動の向上、小学校から中学校への円滑な接続による中1ギャップの解消、様々な教職員や幅広い学年の児童生徒と関わることでより広い視野を得たり、コミュニケーション能力を高めたりすることが期待できるとされ、連続性や系統性が求められている。</p> <p>教育長が目指す「小中一貫教育」とは。今後、どう推し進めていくのか。</p>	教育長	
		<p>② 学校施設計画の見直しについて</p> <p>学校施設については、「小中一貫教育」の進め方によっては校舎の在り方も関連性がある。</p> <p>小学校校舎は昭和56年築で44年経過、中学校は昭和46年築で54年経過している。</p> <p>「新十津川町公共施設等総合管理計画」では、計画的な予防修繕を行いながら長寿命化を図るとし、「学校施設長寿命化計画」では、学校施設は80年利用するとしている。しかし、計画的な改修や「予防修繕」に加え「事後修繕」が発生している現状がある。</p> <p>今年度は「学校施設長寿命化計画」策定後、5年目の計画確認年度にあたる。学校施設建替えも含めた計画の見直しや方針を検討する考えはあるか。</p>	教育長	